

標高 1,964m 人形石の前で記念撮影

米沢興議館  
SSH  
通信

第4号  
平成24年7月31日  
米興高 SSH 企画部



# フィールドワーク研修

## 郷土の豊かな自然に触れ、自然への親しみ や正しい理解を深め、豊かな情操を育む。

### フィールドワーク研修①の大まかな日程

7:30	バス乗車後学校発
8:10	湯元駅着
8:30	登山開始 動く植物園 天元台高原から北望台（標高 1,820メートル）までのリフトに乗りながら高山植物や樹木を鑑賞
10:00	北望台着 登りながら地層や植生を学ぶ
11:00	人形石着（昼食）
12:30	大凹（お花畑） 高層湿原には日本でも珍しい池塘が点在した水沼があり、付近に群生している高山植物の花を観察
13:15	かもしか展望台 自分達の住んでいる地域を含め、飯豊・朝日・月山などを眺望する
13:45	北望台着
15:30	バス乗車後湯元駅発
16:10	学校着



このような豊かな自然環境を効果的に活用し、生徒が自然への親しみや正しい理解を深め、豊かな情操を育むことを目的として本フィールドワーク研修①は企画された。驚きや感動を持って（センス・オブ・ワンダー体験）地域の自然や自然環境に触れることは、郷土愛を育むとともに、生徒の心に大きく響く学びにつながるかと期待してやまない。

それでは、そのセンス・オブ・ワンダー体験を生徒の声で振り返りたい。

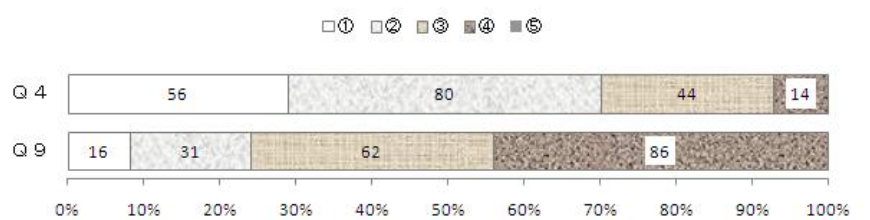
西吾妻山（にしあづまやま）は米沢市と福島県耶麻郡北塩原村の境界に位置する火山であり、磐梯朝日国立公園に属する。東西に主軸をもつ吾妻連峰を構成する山の一つで、標高は、連峰最高で2千mを超える。植物地理学上は北陸地区に属しながら、関東地区の影響も受けるといふ特殊な条件下であるため、植物分布の北限あるいは南限とされる植物が多数自生しており、珍種も多いのが特徴である。

Q4 今回のフィールドワーク研修により、自然に接することや自然観察をすることが好きになった。

- ① 参加前から好きだったし、参加後はより好きになった
- ② 参加前から好きだったが、参加後もあまり変わらない
- ③ 参加前から好きではなかったが、参加後は好きになった
- ④ 参加前から好きではなかったし、参加後もあまり変わらない
- ⑤ 参加前よりもきれいになった

Q9 西吾妻山等の身近な自然について、知りたいことを自分で調べてみようと思うようになりましたか？

- ① 参加前も思っており、参加後はもっと思うようになった
- ② 参加前も思っていたが、参加後もあまりかわらない
- ③ 参加前は思っていなかったが、参加後は思うようになった
- ④ 参加前は思っておらず、参加後もあまりかわらない
- ⑤ 参加前よりも思わなくなった



これらは生徒を対象に行った意識調査結果の抜粋である。Q4について、以前から好きだった生徒を含めフィールドワーク研修実施後には9割を超える生徒が自然に対して好感を持つに至った。一方、能動的な学びについては、向上の余地があることがQ9より読み取れる。

### 生徒の感想

- ・米沢にあんな綺麗なところがあったて驚いた。登山は初めてだったが楽しむことができた。また山に登ってみたいと思った。
- ・今回のようなルートで登山したのは2回目だが、改めて登ってみると多彩な植物を見ることができた。校章のデザインになったゴゼンタチバナも見られたし、米沢の町並みも一望できて本当に良かった。これからはあの大自然が長く続いてほしい。
- ・自分の目の前に実際にあるものについて学ぶという事はなかなかない経験だと思う。とても興味深かった。
- ・今回のフィールドワークで更に自分が今存在する地域を知りたいと思った。とても楽しかった。「環境破壊」をもっと知りたい。
- ・自分が思っているよりもすごく楽しめた。フィールドワーカーの方が直接目の前で説明してくれたおかげで理解しやすかったし、なるほどと思うことも多かったので楽しかった。また、機会があったら違う山にも登りたい。